

## 4種混合予防接種を受ける方へ

### 1 予診

予防接種をうける際には、こどもの健康状態をくわしく医師に話してください。

### 2 予診票

予診票は、保護者が責任をもって記入し、母子手帳・健康保険証とともに医療機関の窓口へ提出してください。

### 3 次のいずれかに該当するときは、接種をうけられません。

- ①明らかに発熱のある人（37.5℃を超える人）
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③その日に受ける予防接種の接種液の成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがある人
- ④その他、医師が不適當な状態と判断した場合

### 4 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①予防接種を受けたあと30分間は、その場で様子をみてください。急な副反応はこの間に起こることがあります。
- ②接種後、1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- ④接種した日は、いつも通りの生活をしましょう。はげしい運動はさけましょう。
- ⑤接種後、高熱・けいれん等の症状があらわれた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。また、医師の診察を受けた場合には、そのことを町健康福祉課（☎57-4171）に連絡してください。

### 5 4種混合ワクチンの副反応

主なものは接種部位の紅斑、腫脹（はれ）、硬結（しこり）などの局所反応及び発熱です。これらの副反応のほとんどは接種後、3日目までに認められます。重大な副反応として、アナフィラキシー様症状、血小板減少性紫斑病、脳症、けいれんがあらわれることがあります。

### 6 予防接種被害救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。（予防接種と健康被害との因果関係を国の審査会にて審議し予防接種によるものと認定された場合）

### 7 対象年齢及び接種回数

生後3月から90月（7歳6か月）未満の方

接種回数 4回（初回接種3回 追加接種1回）

### 8 その他

4種混合予防接種は、全部で4回と回数が多い予防接種ですが、「初回接種」をするときの20日～56日の接種間隔は守るようにしましょう。